

心房細動合併急性冠症候群患者における抗血栓治療後の 出血と血栓リスクに関する前向き観察研究

★対象患者

心房細動合併急性冠症候群で、入院中に冠動脈インターベンションを施行し退院できた患者で、かつ退院時までにワルファリンまたはDOACsを服用した患者

※除外基準（下記基準に該当する場合は、除外してください）

- ・外科手術、冠血行再建術（PCIまたはCABG）が原因のACS
- ・今回の入院目的が胸痛の精査・加療ではない患者
- ・研究責任者または研究分担者により不適当と考えられる患者
- ・血栓吸引のみ、血栓溶解療法のための患者
- ・ACS発症後の一時的なAF患者

★症例登録期間：～2019年9月末

☆追跡期間：登録時より2年間（1年次、2年次、イベント発生時）

★EDCアクセス：<https://ddworks.jp-sol.com/>

ログインID・PWは、DDworks21サポートセンター(富士通株式会社)より、メールでご連絡しております。メールを紛失された場合は、大変お手数ではございますが、下記ヘルプデスクにお電話頂き、PW再通知をご依頼ください。

※ヘルプデスク：0120-828-513

研究代表者：順天堂大学大学院医学研究科教授 代田 浩之

連絡先：順天堂大学医学部附属順天堂医院

臨床研究・治験センター STAR-ACS study 事務局

☎03-3813-3111（内線3832）MAIL：juntencrc@juntendo.ac.jp